

105号

平成18年8月1日

発行 社会福祉法人 宗像市社会福祉協議会

〒811-3437 宗像市久原180 メイトム宗像2階 TEL 0940-37-1300

平成18年度 福岡県総合防災訓練

災害ボランティアセンターを設置

本会では、福津市社会福祉協議会や県災害ボランティアネットワーク協議会など協力して、災害ボランティアセンターの設置に関する訓練を行いました。



被災者の切実な訴え(ニーズ)にどう対応するか!

本会は、市の防災計画では、大地震などの災害時に、災害ボランティアセンターの設置がその役目となっています。今回の訓練では、福津市で記録的な大雨による浸水被害とマグニチュード7クラスの大地震による家屋倒壊などの被害が発生したことを想定したものでした。

県では、毎年総合防災訓練を行っています。今年も、福津市福岡海岸をメイン会場に5月28日(日)に行われました。特徴は、昨年の福岡県西方沖地震の経験を踏まえた大島などの離島における避難・救援活動でした。強風と小雨の中、県内から多くの防災関係の団体が参加しました。



いざという時の大きな戦力 学生ボランティアも参加

本会職員にとっても、初めての経験でしたが、災害時に被災者へ、どうすれば円滑で効果的なボランティア活動が行えるかを考える貴重な体験となりました。

平成17年度 決算報告

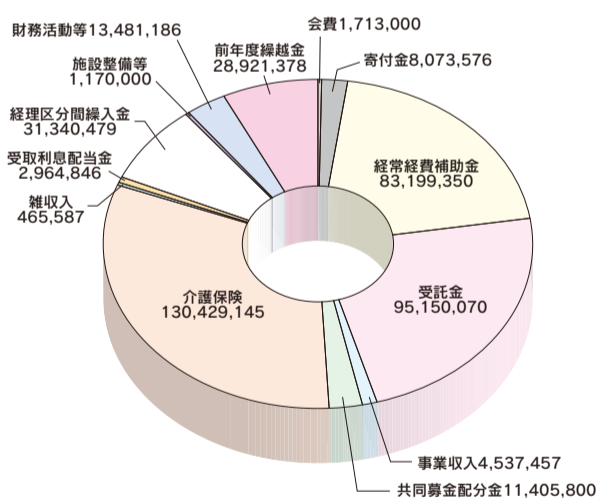
社会福祉協議会は、市などの補助金・委託金をはじめ、共同募金配分金、介護保険事業費のほか、香典返しなどの寄付金で運営しています。

これらの財源を地域福祉活動や福祉教育活動、ボランティア活動などに有効に活用し、市民のみなさんの福祉向上を目的とした活動を行っています。

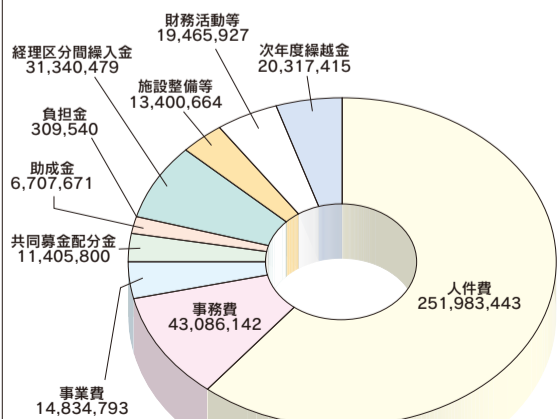
平成17年度の決算状況は下記のとおりです。

総額 4億1,285万円 (単位:円)

収入



支出



みんなに伝えたい

「本」の魅力、素晴らしさ

地域福祉文庫講演会

6月26日(月)、メイトム宗像で「本の楽しさ届けたい!」をテーマに「読み聞かせ」「ストーリーテリング」「ブックトーク」の3つの分科会を地域福祉文庫連絡協議会と本会が協力して開催しました。参加者は家庭で子育て中の保護者や地域で本を通じた活動をしている人など79人でした。



講師 エルマー語りの会 八尋理恵さん

第1分科会 「読み聞かせ」

この分科会では、絵本の選び方や読み方、声の出し方など基本的な説明があり、読み聞かせ経験の浅い人には具体的な参考に、経験の深い人には、初心に戻って学習する良い機会になったようでした。



講師 やかまし村文庫 上村篤子さん

第2分科会 「ストーリーテリング」

「幼いころから、テレビやゲームに接している子どもにとって、肉声での語り」は、絵本を使わず、語り手が一つの話を覚えて自分の



講師 ブックトークボランティア 「本の楽しさお届け便」 松尾有子さん

第3分科会 「ブックトーク」

ブックトークとは、教冊

ものにし、聞き手に語って聞かせることです。読み聞かせとは違い、「絵」のない「言葉」だけの語りとなるため、聞き手の想像力が養われます。分科会形式による少人数での講習だったので、より講師と身近に接することができ「語り」の世界に引き込まれているようでした。

今回、分科会形式で行ったことで、自分の目的にあった内容を受講できたとの感想が多くありました。それぞれの活動の中で、課題や悩みなどを抱えての質問も積極的に飛び出しましたが、講師の的確で経験豊富なアドバイスに、あらためて「本」の魅力、素晴らしさをみんなに伝えていきたいと感じた講演会でした。

「ともに生きる力」で福祉の里づくり(2)

福祉教育推進計画ダイジェスト

前回(6月1日号)に引き続き、福祉教育推進計画を紹介します。今回は、5つの柱のうち「ともに生きる力の輪を広げよう」と「ともに生きる力をはぐくもう」です。

1 ともに生きる力の輪を広げよう

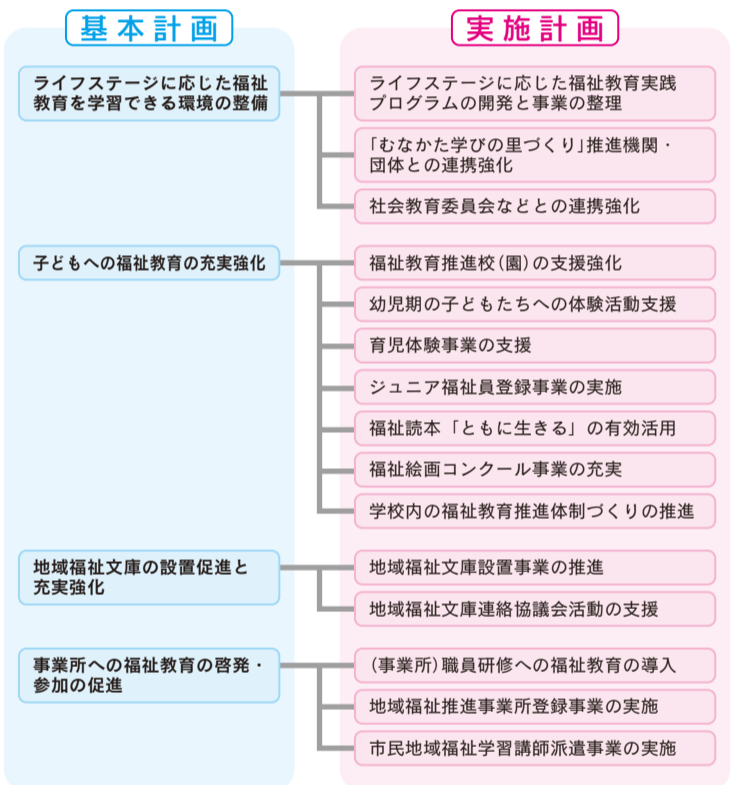
第1の基本方針「ともに生きる力の輪を広げよう」は、子どもから大人までの生涯学習としての福祉教育を推進することで、地域福祉を推進します。

2 ともに生きる力をはぐくもう

福祉教育で思いやりややさしさの心をはぐくむことは重要ですが、思いやりややさしさだけを強調しすぎると、障害がある人や高齢者を「援助してあげなくてはならない人」といった偏った理解をさせてしまう場合もあります。

基本構想

1 ともに生きる力の輪を広げよう



福祉会活動紹介

口腔ケアからはじめる健康づくり

いきいきふれあいサロンで

口腔ケア指導(大谷区福祉会)



口腔ケアの指導をする出光早月さん

介護保険法改正に伴い、4月から介護予防の一環で高齢者を対象とした口腔ケア指導が導入されました。高齢者が要介護状態になる主な原因には、脳卒中や虚弱、転倒・骨折、カゼ・肺炎、認知症などがあります。これらは、歯と口の健康に少なからず関係しています。

口腔ケアでは、歯や口の清掃をはじめ、食べる、話す、といった口腔の機能を維持・向上させるための指導を行います。これを受け、大谷区福祉会では、6月18日(日)に、同区の高齢者を対象に口腔ケア教室を開催。20人が参加しました。



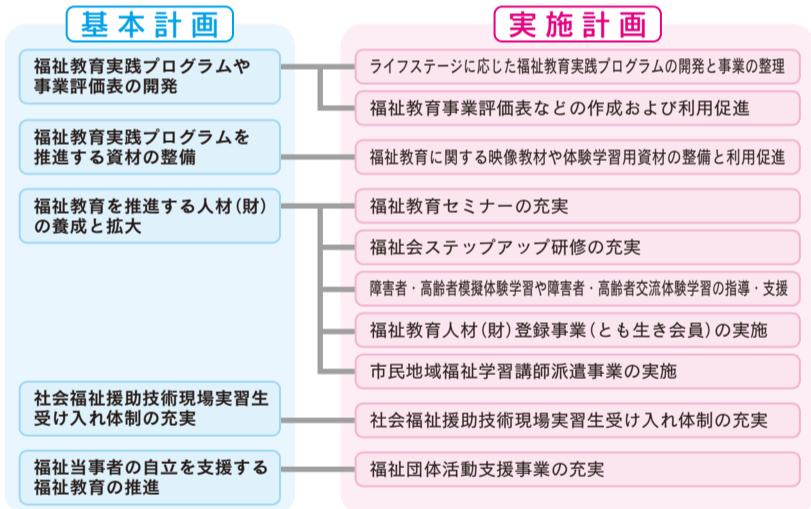
鏡を見ながら口の中をチェック!

同教室は、原則として3カ月に2回実施し、2回目に1回目を受けた指導の効果をみます。参加者は、口腔ケアが健康に大きく影響することを聞き、とても熱心に指導を受けていました。

ラッシングや、顔面体操などの実践を交えた指導を行いました。同教室は、原則として3カ月に2回実施し、2回目に1回目を受けた指導の効果をみます。

基本構想

2 ともに生きる力をはぐくもう



「ともに生きる力」は、誰もが人格を尊重され、人として同じ権利を享受し、地域社会で主体的な生活と実践を行うことを目的としています。また、福祉教育を推進する人材(財)の養成と拡大も目的としています。

ボランティアセンター通信

「おしゃべりサロン」でボランティア活動体験しませんか?

月1回開催している「おしゃべりサロン」では、ボランティア活動体験ができます。また、体験したいボランティア活動のリンクも受け付けています。

子どもや親子の参加も大歓迎です。また、体験したいボランティア活動のリンクも受け付けています。

おしゃべりサロン	おしゃべりサロン
9/13	読み聞かせに挑戦!
8/2	点字で名刺を作ってみよう

相談日	活動分野	アドバイザー
8/2	朗読	西田 和子
9	手話	黒田 千穂子
16	施設訪問	山之口 フチ子
23	手話	黒田 千穂子
30	朗読	野田 美子
9/6	朗読	野田 美子
13	点訳	石津 朝子
20	施設訪問	山之口 フチ子
27	朗読	西田 和子

寄付 ありがとうございます

- 【香典返し】敬称略
- ・(故)原田慎太郎 (曲) 秦英一 (村山田)
- ・(故)田畑久 (用山) (故)花田隆昌 (山田)
- ・(故)廣野種保(自由ヶ丘) (故)白石兵雄 (鐘崎)
- ・(故)上坂スミ子(富地原) (故)八波忠茂 (平井)
- ・上村シヅ (赤間) (故)大森恭一 (土穴) 植津満照 (曲)
- ・(故)吉村誠一 (河東) 吉宗恒美 (自由ヶ丘南) 末次ミエ (富地原)
- ・(故)井手ミヤ子 (土穴) 平泰勇 (故)大森楠柱 (神湊)
- ・(故)前田愛子 (神湊) (故)藤崎長雄 (日の里) 飯田トメ子 (曲)
- ・(故)山口進一(自由ヶ丘) (故)吉田昭夫 (田野) 遠藤朋子 (大島)
- ・安部須美子 (河東) (故)次郎丸シゲ (平井) 戸田朝香 (多礼)
- ・(故)田中カズエ (神湊) 花田森二 (田野)

社会福祉法人 宗像市社会福祉協議会

宗像市久原180番地メイトム宗像内 ☎(37)1300

玄海支所 宗像市神湊118番地4 ゆうゆう館内 ☎(34)6008

大島支所 宗像市大島1809番地32 ふれあいセンター内 ☎(72)2294

ホームページアドレス <http://syakyo.murakata.com/>